

ノート 23.6 スクアレンからステロイドの生合成

トリテルペンの一つであるスクアレンの二重結合が酵素触媒によりエポキシ化され、ついで酸触媒によるエポキシドの開環が二重結合への求電子付加による多段階の環化の引き金になる。環化して生じたカルボカチオン（プロトステロールカチオン）は水素とメチル基の1,2-移動による転位を起こしてラノステロールを与える。さらに多くの異なる酵素の作用によって三つのメチル基を取り去り、コレステロールに導かれる。他のすべてのステロイドは、コレステロールから合成されている。

